

奈良市民だより

No. 501

市民のうごき

11月15日現在(前月比増)
 人口 311,686人(630)
 男 151,149(303)
 女 160,537(327)
 世帯数 100,016(201)

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。
 奈良は未来をひらくまち、青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましよう。
 奈良は善意のまち、みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。
 奈良は清静で平和なまち、旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。
 奈良はのびのびと、市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。



除幕した大雁塔模型を鑑賞する張西安市長(中央)と木山市長(右)岡田市議会議長(左)

記念の大雁塔模型除幕 張市長ら熱心に友好の視察

西安市から友好代表团

奈良市と友好都市提携している中国・西安市から張鉄民市長を団長とする訪日友好代表団の一行五人が十一月十六日奈良を訪れ、二十日まで滞在して各種行事を通じ両市の友好を深めました。

一行は張市長のほか尚質賢中国共産党西安市委員会書記、孫殿奇同市副市長、杜彬

同市新城区々長、鄧友民同市人民政府外事辦公室幹部らで十一月九日に来日、同じ友好都市の京都市での公式日程を終えて十六日に近鉄奈良駅まで来朝、張市長は同駅へ出迎えた木山奈良市長とガッツリ友好の握手。

このあと、張市長らは市役所を訪問して六階会議室で開

かれた歓迎式に出席。木山市長、岡田市議会議長や市の部長らの歓迎を受けました。

席上、木山市長は「日中国交正常化十周年の記念すべき年に、張市長を団長とする訪日友好代表団を迎えられたことは大変うれしいことです。奈良と西安市の友好都市提携は八年目をむかえたが、この

間、両市の友好関係は日中国の友好の先駆者としての役割を果たしてきた。張市長の今回の来朝を機会にさらに両市・両国の友好を深めたい」と歓迎のあいさつを述べると、張市長は「中日国交回復して十年の間、諸分野で両国の交流は深まってきているが、西安・奈良両市も友好都市提携八年の間、文化・体育・農業・医療などの交流を通して友好は深まってきた。今後木山市長と手を携えて、両市・両国人民の友好を深めていきたい」とこたえまし

た。このあと一行は市役所応接室「西安の間」でつろぎました。

ついで、日中国交正常化十周年を記念して西安市から贈られた西安市の歴史的代表建造物「大雁塔」の模型の贈呈式が一階展示ホールで挙げられ、一行はそろって参列、張市長は木山市長、岡田議長とともにひもを引いて塔の除幕をしました。

照明に白亜と輝く塔は、展示ホール中央の平城京の復元模型の西側、黒御影石の台座(高さ五・一メートル)に安置され高さ一・二メートルの大理石に彫られた重厚なものです。この大雁塔は唐の高宗時代、西暦六五三年に西遊記で有名な玄奘三蔵法師が設計・建立

し、ここで法師自身がインドから持ち帰った多くの仏典を翻訳したと伝えられ、今なお現存する西安市の代表的建造物となっています。

一行は、このあと大和郡山市の中央卸売市場、同じく松下住設機器の工場、西吉野村の柿出荷作業場、桜井市の農業大学校、奈良市内の平城ニュータウン、奈良阪開発地、市農業振興センターを精力的に見学、行く先々で係員の説明に熱心に聞き入っていました。また、市内の東向通りともいわれる通りの商店街を見学するなど、様々な分野にわたって細かく視察・学習をしました。

このような忙しいスケジュールの間にも一行は東大寺、

冬枯れ克服へ新構想

新春には大誘致作戦！ 広域観光キャンペーン展開

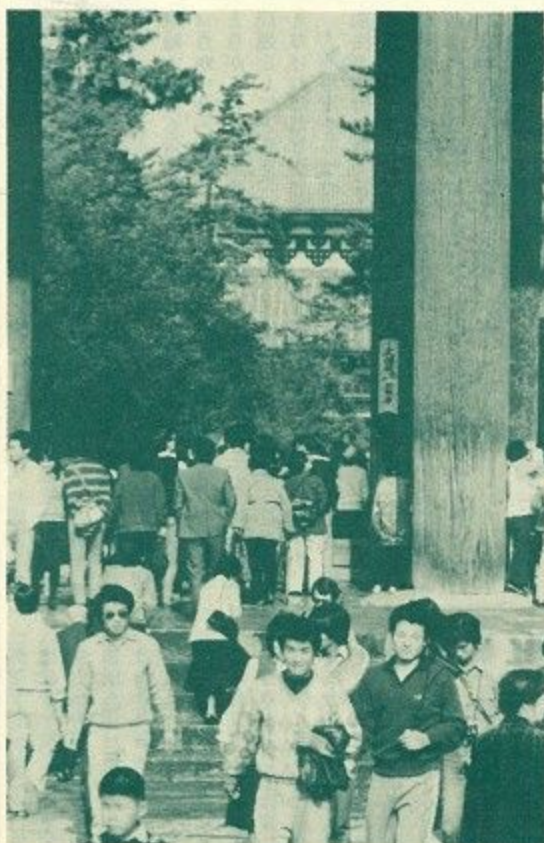
市と市観光協会が関係機関・団体と社寺などの全面協力で、来年一月十五日から三月二十日までの六十五日間、奈良大和路キャンペーン「歴史の素顔に出逢いたい」を実施します。

奈良大和路は日本文化発祥の地であり、その古き良き香

り求めて国内だけでなく外国からも多くの観光客が訪れます。昭和五十六年には修学旅行生を含めて実に年間千四百二十八万人もの観光客が古都を訪れたにもかかわらず、そのほとんどが日帰り客で宿泊客は二百二十万人(14・8%)止まりと少なく、とくに

十二月から二月にかけての冬場観光客は二百七十三万人(最盛期の春三・五月は四百三十五万二千人)とこれまた大きく落ち込みます。

今回のキャンペーンは、国際文化観光都市奈良のかかえるこうした悩みを解消しようというもので、首都圏はも



春秋に殺到する内外の観光客(東大寺南大門で)

両市今後の交流

西安市友好代表団の離京を前に、十九日午後四時から奈良ホテルで奈良市側から木山市長、西田助役、西安市側から張市長、孫副市長が出席して今後の両市の交流についてつぎのことを協議しました。

▽西安市から二人の農業研修生を奈良に派遣し、来年半年にわたって野菜栽培、品種改良、乳製品加工などの技術を学習する。

▽来年の友好都市提携十周年記念事業に、奈良市で西安市の工芸・文物の展示即売会を開く。

▽相互訪問の原則から、来年は奈良市から代表団を西安市へ派遣することについて。

▽来年は奈良市から二人の調理師を西安へ派遣し、中国料理を勉強する。

そのほか、夏休み中に奈良市の小・中・高校生が参観団として西安市を訪問するのを楽しんで受け入れると西安市側の申し出がありました。

- ちろん名古屋、京阪神を重点キャンペーン地域とし、期間中に五万人の宿泊客を誘致することを具体的な目標にしています。
- キャンペーン最大の呼び物は、市内の社寺における秘仏・秘宝の特別公開(別項参照)ですが、奈良交通ではそれぞれの社寺を結ぶ特別観光コースを開発、毎日運行します。またこれ以外にも、キャンペーンの後援・協賛団体である市内の旅館、土産品店、飲食店、商店街でも工夫をこらしたサービスを実施することになっています。
- このように、今回のキャンペーンでは市と市観光協会を中心に交通機関、社寺、関係諸団体あげての取り組みがはかられ、将来に向けての奈良大和路広域観光の推進をはかろうというわけです。
- 秘仏・秘宝を特別公開**
- キャンペーン期間中、つぎの社寺、その他で秘仏・秘宝の特別公開はじめ、特別の催しが実施されます。
- ▽鹿野せ 十二月中の毎水曜
- 日と来年一月五日・十二日、同十五日・三月二十日の毎日、三月二十三日・三十日の午前九時半から飛火野で行われます。
- ▽春日大社 春日名宝展として同社蔵の国宝・重要文化財クラスの名宝を公開、一月十五日・三月二十日の午前十時・午後四時。
- ▽薬師寺 西塔内部開扉。一月十五日・三月二十日の午前十時・午後三時。
- ▽西大寺 愛染明王開扉。一月十五日・二十四日の午前十時・午後三時。
- ▽東大寺 戒壇院開扉。一月二十五日・二月四日の午前十時・午後三時。
- ▽唐招提寺 新宝蔵開扉。二月五日・十一日の午前十時・午後三時。
- ▽大安寺 馬頭観音開扉。二月十一日・二十三日の午前十時・午後三時。
- ▽興福寺 東金堂開扉。二月二十四日・三月二日の午前十時・午後三時。
- ▽元興寺 智光曼荼羅開扉。三月一日・二十日の午前十時・午後三時。
- ▽法華寺 光月亭と東書院の公開。三月三日・二十日の午前十時・午後三時。

守ろう人権 許すな差別

人権共存の人間関係を

◇…三つの柱で実践呼びかけ

奈良地方方法務局と奈良県人権擁護委員連合会では、ことしも①人権の共存②部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消③婦人の社会的地位の向上の三つの柱を重点目標にかかげ人権の尊重、差別の撤廃を徹底して強調することにしています。

●人権の共存—互いに相手の立場を考慮して豊かな人間関係をつくらう。

近ごろは、基本的人権についての知識は広く国民に浸透し、自己の権利や利益が積極的に主張されるようになったことはその現われであって、本来は喜ばしいことといわねばなりません。

しかしながら、一方において夫婦・親子の対立、不和が原因の人権侵害や、幼児、障害者、病人に対する虐待も目立ち、また近隣関係でも借地、借家の立退き強要、あるいは日照妨害、騒音などの小

12月4日～10日

人権週間

昭和二十三年十二月十日、国際連合総会で「世界人権宣言」が採択された日を記念して、国際連合本部をはじめ各国で人権擁護活動を進めるための各種の行事が行われます。

わが国では、「世界人権宣言」採択の十二月十日の「人



日下部昌代さん(当時富雄中二年) 作 昭和56年度人権啓発ポスター入選作

公害が起こり、さらに部落差別をはじめその他の差別現象もあとを絶たない現状にあります。

これらは、自分の利害のみを主張し、人権が著しく侵害されている。人びとの立場や、生死にかかわる、重みを自分のものとして理解してないことに起因することが多くあります。

豊かな人権共存の社会を築くためには、人権が著しく侵害されている。人びとの生活現実に学び、その立場に立って考え行動することが極めて大切です。これらのことを一人ひとりが理解し、真に人権尊重を基調とした明るい社会を築こうではありませんか。

●部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消—差別の根絶へたゆまぬ努力を、人は生まれながらにして自由と平等を保障されており、この基本的人権は人類普遍の

残っており、婦人の能力を十分に活かすような社会環境に乏しく、これが男女差別につながる結果となっています。

政府も、婦人が実際に一切の権利を男性と等しく享受し、政治、経済、社会、文化などあらゆる分野に、男性と同様に進出、貢献できる社会環境の整備を呼びかけています。

私たちがこれに呼応し、婦人の意見や特質が十分活かされる活力ある社会づくりのため、それぞれの立場で努力しようではありませんか。

中・小学生から作品を募集

奈良地方方法務局と奈良県人権擁護委員連合会では、同和問題解決への取り組みの重要性を訴え、人権意識を高めるための標語を募集しています。

募集期間は、十一月二十五日(消印有効)までです。

応募は、住所、氏名、年齢を書いて奈良地方方法務局人権擁護課(市内高畑町五五二、☎五五三四)へ十二月二十日(消印有効)までに送ってください。発表は二月上旬の予定で、優秀作品には記念品を贈ります。

人権擁護の習字とポスター

市と奈良人権擁護委員協議会第一分会が、人権擁護に関する習字とポスターを募集しています。

募集期間は、十一月二十五日(消印有効)までです。

応募は、住所、氏名、年齢を書いて奈良地方方法務局人権擁護課(市内高畑町五五二、☎五五三四)へ十二月二十日(消印有効)までに送ってください。発表は二月上旬の予定で、優秀作品には記念品を贈ります。

成人式 1月15日、史跡文化センターで

来年一月十五日、市と市教育委員会で市内の新成人を招いて、新しい出発を祝う恒例の成人式を市史跡文化センター(三条大路一丁目)で開きます。

いままでは、満二十歳になる年の一月一日から十二月三十一日に生れた人をその年の成人式に招いてきましたが、来年からは、学年制をとるため、今回はその過渡的な年として昭和三十八年一月一日から同年四月一日までの生まれの人をお招きします。

該当する新成人千三百六人には成人式の案内状を今月末

に送りますが、昭和三十七年四月二日(同年十二月三十一日生まれ)他市町村から転入した人でまだ成人式をすませない人や、該当者で案内状が届かない人は市社会教育課(☎一一一一)へご連絡ください。

式典は午前十時に始まり、参加者は華美な服装は避けて、できるだけ平服で出席してください。

なお会場の史跡文化センターには駐車場がありませんので、市役所裏の駐車場を利用してください。

「新成人の意見」を募集

今回、成人式をむかえる新成人から「新成人の意見」を募集します。

内容：新成人としてふさわしい題材であれば内容・形式は自由、四百字詰め原稿用紙五枚程度。資格：昭和三十八年一月一日(同年四月一日生まれ)の市内在住者。提出は十二月二十五日(消印有効)までに市社会教育課(二条大路南一丁目)へ。優秀作品は成人式で発表させていただきます。

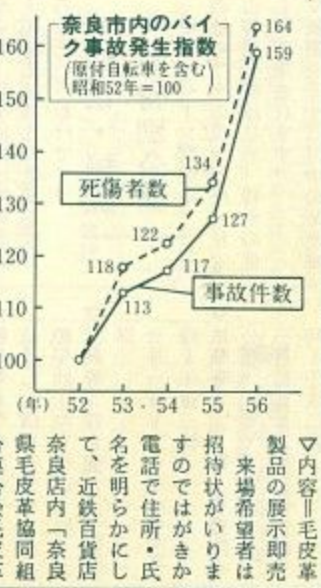
激増するバイク事故

五つのセーフポイント

街頭を身軽に走り回れるバイクは、他の車に比べ経費が安く、とても軽便なのでいまブームを迎えています。しかし、その軽便さが逆作用してバイクによる事故は下表のように増加の一途をたどっています。バイクは体を露出して

走るのですから、細心の注意が必要です。事故からあなたの身を守るため、次の事項を必ず守りましょう。

- 1 安全速度を必ず守る
- 2 死亡事故の三〇%以上はスピードの出し過ぎが原因です。
- 3 工作物への衝突や転倒とい



奈良日日新聞社から50万円

十一月十五日、奈良日日新聞社から、同社社屋完成を記念して「わかくさ国体成功のため使ってください」と市国体委員会に五十万円の寄付がありました。この金は国体事業運営資金として活用されます。

フランス刺し

県婦人就業サービスセンター(大森町総合庁舎内、☎五七二九)のフランス刺し技術講習会が主婦を対象に、十一月二十日(開かれます)に開催されます。受講希望者は往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号、講習会名を書いて十二月二十日までに同センターへ。受講料は無料。申し込み多数の場合は抽選。

毛皮革フェア

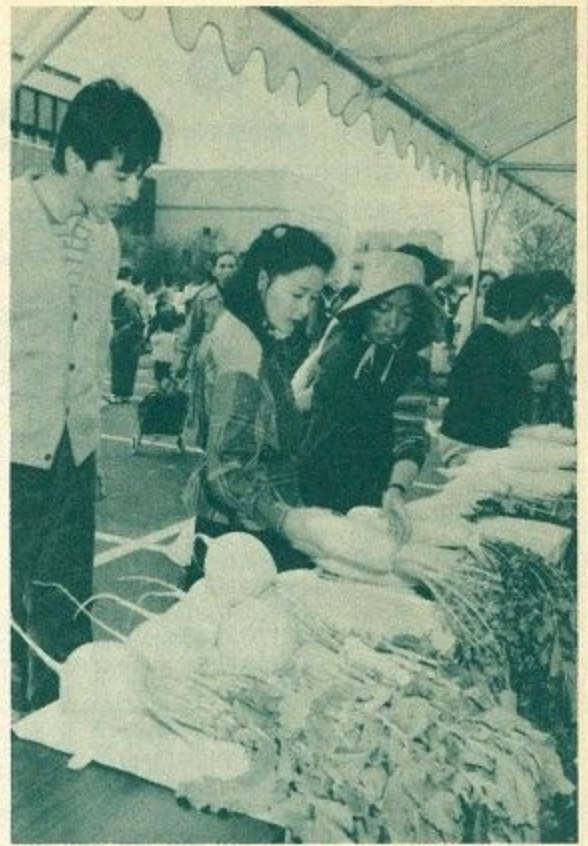
県毛皮革協同組合連合会が

奈良県などの後援でつぎのよう、毛皮革フェアを開催します。昨年度同連合会が産地中小企業対策臨時措置法によって通産大臣から産地指定を受け、同法に基づいて行なう産地振興事業の一環として初めて開くものです。

とき：十一月十八日・十九日

ところ：奈良商工会議所五階大ホール(登大路町)

犬はかならず つないで飼いましよ



出品された大根もたちまち売り切れの大盛況

増産へ志気高揚

市農業祭と農業者大会

市の農業発展に大きな業績をあげた農業者や農業団体の功績をたたえ、明日の農業振興への志気高揚をめぐって奈良市農業祭と農業者大会が十一月二十日市役所正庁で開かれました。

表彰された方

各種表彰の被表彰者はつぎのとおり。(敬称略)
【農業賞】北岡清一▽義興晴
▽大安寺軟弱野菜生産出荷組合▽奈良軟弱野菜生産出荷組合▽奈良市農協▽尾羽根共同製茶組合▽東里しいたげ生産組合▽水間製茶共同組合【農産物

五万人目金子 さんに記念品

旧柳生藩家老 屋敷の入り場者

剣豪の里・柳生に昨年十一月オープンした旧柳生藩家老屋敷はこのほど満一年を迎えて、訪れる観光客の足は絶えず、十一月十三日には早くも入場者五万人を数えました。五万人目の入場者は大阪府大東市の金子研二さん一家で、金子さんには木山市長から記念品として色紙と木刀、柳生の地酒が贈られました。

楽しく「みかん狩り」

秋晴れに恵まれて

母子家庭の母と子ら300人



半年前まで奈良市に住んでいたという金子さんは、奥さんと二人の息子さんと一緒にドライブで柳生に来て、このラッキーにあつたもの。この家老屋敷は柳生藩の財政を助けていた家老の小山田主幹の屋敷で、石垣には天保十二年(一八四一年)に尾張の石工が築いたと印されています。建物内は十一部屋のうち四室と玄関に、柳生藩関係の資料約四百点が陳列されており、庭園も回遊できるようにになっています。母子家庭の母と子ら300人のみかん狩りでは、十一月十四日市内の母子家庭の母と子を招いて天理市園原で「みかん狩り」を催しました。この日参加したのは八十家族三百人。「母と子の家」に集合した母子たちは、バス六台に分乗してみかん園へ。みかん園では、たわわに実った黄金色のみかんに子らは、わっ、と歓

校舎の改築成る

帯解小、記念式の喜び

市立帯解小学校(柴屋町)では木造の旧校舎が老朽化したため、昭和五十四年から同校敷地内で鉄筋校舎への建て替えを進めていたが、このほどすべての工事が終わり、十一月十三日、同校講堂でその完成を祝う記念式が行われました。

88人が真剣に

市の手話奉仕員養成講習会

聴覚言語障害者との会話の輪を広げようと、十一月十二日から市役所で手話奉仕員養成講習会が始まりました。受講希望者が「市民だより」で募ったところ、八十八人も応募があり、クラスを二つに分けて講習会を開いています。

110周年記念式

椿井小学校在

市内で最も歴史のある学校の一つ椿井小学校(椿井町)は、今年創立百周年を迎えました。その記念式典が十一月九日同校講堂で挙げられ、木山市長、同校出身者や関係者、児童代表ら五百人が出席して百周年の輝かしい校史を祝いました。式では同校六十年生が制作した劇「椿井百十年のあゆみ」を六年生全員(百四人)が演じ、開校から現在にいたる長い歴史の歩みを舞台に再現しました。同校は明治五年(一

94人がお勉強

色づいた秋のコース巡り 文化財学習と市施設見学

日ごろあまり見る機会のない市内の文化財を現地で学習し、あわせて市の水道施設、清掃施設などを見学する「文化財の臨地学習と市の施設見学会」が十一月十二日に開かれました。

西安のコックさん二人帰国

料理技術の交流を通じて奈良・西安両市の友好を深めようとする九月来寧し、高畑町の奈良ホテルで西安市の調理師二人が料理の技術を学んでいましたが、このほどその研修を終え、十一月十六日に帰国しました。

奈良市が快勝

姉妹都市福井県小浜市との第六回親善剣道大会が十一月十四日市中央武道場で開かれました。

富雄公民館の十周年記念文化祭

富雄公民館の創立十周年記念文化祭が十一月十三・十四両日開かれました。

新自治会長

【町内自治会長】上幸町西村公秀▽東郷町一丁目第二井口洋▽東郷町三丁目第二井口洋▽東郷町三丁目第二井口洋

富雄公民館の十周年記念文化祭

富雄公民館の創立十周年記念文化祭が十一月十三・十四両日開かれました。

新自治会長

【町内自治会長】上幸町西村公秀▽東郷町一丁目第二井口洋▽東郷町三丁目第二井口洋

武家屋敷のたたずまいを見、部屋ごと展示された各種資料に武家の生活をしのびました。

住民検診

結核や肺ガンの早期発見、早期治療をめざして市の結核住民検診が来年2月まで行われています。みなさんの家の近くまでレントゲン車が巡回しますので、この機会にぜひ受診してください。

Table with columns: 地区 (佐保, 伏見, あやめ池, 平城), 月日 (12.13, 12.14, 12.15, 12.16, 12.20, 12.21, 12.22, 12.24), 時間 (9:30-10:00, etc.), 実施場所 (法華寺新町アベ洋品店前, etc.).

母と子のクリスマスパーティーとおもちつき

市母子福祉センター「母と子の家」では、つぎのようにクリスマス会とおもちつきをします。サンタさんからのプレゼント、「母と子の家」の人数教室で子どもたちが作った人形などのプレゼント、母と子がいっしょに楽しむおもちつきなど盛りだくさんな内容で19日に「母と子の家」で開かれます。

西部公民館

パッチワークキルト教室 一月十八日(月)三月二十九日の毎火曜日午後一時〜四時。十回で終了。婦人二十五人。料理とお菓子づくり教室 一月二十六日(月)三月三十日の毎水曜日午前九時〜午後一時。十回で終了。婦人四十八人。

若草公民館

日曜ペン習字教室 一月三十日(日)三月二十七日の毎日曜日午前九時半〜正午。八回で終了。成人三十人。以上三教室の合同開講式は一月十四日(金)の午後一時〜四時。

中央武道場

市武道振興会の今年度第四期の武道教室(なぎなた・やり・弓道)と座禅教室、第二期の茶・華道両教室をつぎのように開きます。受講希望者は往復はがきにより開きます。

中央体育館

来年一月からのスポーツ教室をつぎのように開きます。受講希望者は往復はがきにより開きます。入室名(組名)、住所、氏名(ふりがな)、学年、性別、保護者名、電話番号を書いて、十二月十八日までに同館へ。

青少年児童会館

と遊ばず学校生活になじめない小学生、A B各組十人。司道教室 来年一月二十二日から毎週土曜日の午後五時〜七時。高校生以上二十人。茶室教室(官休庵流) 来年一月二十日から毎週木曜日の午後一時〜四時。五十歳までの二十人。

老春の家

「奈良ドリムランド」外課「親と子のスケート教室」係(☎二二二二)▽服装運動のしやすい服装で、必ず手袋持参。

平城わんぱく村のリーダーをつくる

来年一月から一年間にわたる平城風致地区内のゆたかな自然の中で「平城わんぱく村」が開かれます。これは、子どもと大人がいっしょに農耕・動物の飼育・工作・キャンプなどの共同活動をし、その中で明るくたくましい青少年に育ててもらおうというものです。

ツ反応検査

市保健センターでは結核予防のためのツベルクリン反応検査とBCG接種をつぎの日程で各校区の子どもに行います。(カッコ内はツ反反応判定とBCG接種日) 他校区は順次実施

成人病検診

とぎし毎月第二水曜日午後一時〜二時半▽対象三十五歳〜六十四歳で過去一年以内にこの検診を受けていない人▽内容▽問診、検尿、身長・体重・心電図測定、診察、保健指導▽検診料無料▽定員一回四十五人▽申し込み電話で市保健センター(二条大路南二丁目、☎二二二二)へ。

市保健センター

所へ申し込んでください。当日は母子手帳と筆記用具持参のこと。定員三十人。1月5日「妊娠中のくらしかた」 1月12日「妊娠中の歯の衛生」 「妊娠中のたべもの」 1月19日「薬なお産をするために」 1月26日「産後のくらしかた」 「赤ちゃんの育てかた」

大型ゴミ収集

12月 十二月の収集はつぎの地区を予定しています(事情により若干変更することもあります)。収集日は約一週間前に該自治会へ通知します。

奈良保健所

母親教室 妊娠二十八週までの妊婦のための教室。時間はいつでも午後一時〜三時半。受講希望者は電話で保健部、富雄北、鳥見、二名(一部)、青和(一部)有害ゴミは、市が配布した有害ゴミ袋(赤袋)に入れて、集積場に大型ゴミと区別して出してください。

市展なら 作品募集中

くわしくは 市企画課(☎1111)へ